

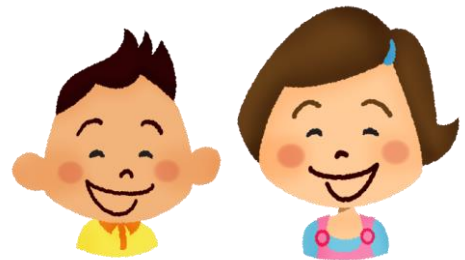
成美小だより

☆第42号☆
2022年12月 7日

☆ きらめき集会 ☆

11月25日（金）に「きらめき集会」を開催しました。「きらめき集会」は、人権をテーマとした学習から子どもたちが学んだ内容をまとめ、メッセージを込めて全校のなかまに発信することを目的とした行事です。コロナ禍の中、2年間は集会を実施することができませんでしたが、今年度は2部制で実施することができました。各学年の発表の様子をビデオで録画し、当日観ることができなかった発表については後日教室で視聴しました。また保護者の皆様には、先日の文書にてQRコードで動画配信に関する通知を出させていただきました。視聴期間を12月23日（金）までとしておりますので、まだ視聴されてみえない方がありましたら是非ごらんください。3年ぶりに対面形式による集会が開けただけでも大きな意義があったと感じています。各学年が発表したテーマは下記のとおりです。動画を視聴した感想などがありましたら、連絡帳等で教えていただけると有難いです。よろしくお願いします。

- ◆1年生・・・「いえのしごとにチャレンジ」
- ◆2年生・・・「大切なじぶん、大切な友だち」
- ◆3年生・・・「みんなのまち・みんなのこと」
- ◆4年生・・・「支え合うわたしたち」
- ◆5年生・・・「ちがいのちがいのから」
- ◆6年生・・・「これからの自分たちにできること」



☆ 校長の一考・熟考₈₆ ～ 我が子に教わる ～ ☆

先日父が他界しました。享年89歳でした。施設の方から最近の父の体調を聞いていたので、ある程度覚悟はしていましたが急な連絡でした。経験された方は共感いただけたと思いますが、身内が亡くなったあとは親戚関係への連絡をはじめ、通夜や告別式の打ち合わせ、関係各所への連絡など、短期間のうちにやらなければいけないことがたくさんあります。数日の間に自宅と奈良の実家を何度も往復しました。慌ただしい中、悲しんでいる間もあまりなく、故人となった父のことを偲ぶ気持ちも後回しになっていました。

告別式当日、出棺の前に、親族のみんなで棺の中の父の回りに花を入れているときのことです。父の孫である長男が、父の胸元にそっと手紙を置くところが目に入りました。それを見て、私は自分自身が忘れていた何か大きなことを、一瞬のうちに思い出させてくれたような気持ちになり、胸が熱くなりました。手紙を書いている時間は相手のことを想っている時間。長男は亡き祖父に対して別れの時間をしっかりととっていたんだと、嬉しくもあり、それができていなかった自分が恥ずかしくもなりました。この歳になっても我が子から教わることもあり、まだまだ未熟な自分を実感した出来事でした。